

第6次中期研修計画(案)

1 はじめに

(第5次中期研修計画の総括)

令和2年度から実施した第5次中期研修計画は、新型コロナウイルス感染症対策のため当初予定した研修を実施することができなかったものの、令和4年度には宮事研セミナーをオンラインで実施し、会員への研修機会の提供を行うことができた。さらに、令和5年度以降は、感染状況が落ち着いたため参集での総会研修会、研究大会、宮事研セミナーを開催でき、その中で、会員相互の情報交換等も行うことができ有意義な研修となった。

2 第6次中期研修計画の目的

平成29年に学校教育法が改正され私たち事務職員の職務が「事務に従事する」から「事務をつかさどる」と改められた。同年に地方教育行政の組織及び運営に関する法律も改正され、共同実施を法制化した「共同学校事務室」が設置が可能となった。また、令和2年度には文部科学省から「学校事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等の送付について」が発出され、事務職員に係る法整備はこの数年で大きく進展した。これらの法整備は、学校事務職員が学校長の補佐役として学校運営に関わるための条件整備が整ったことを示している。

第6次中期研修計画では、第5次中期研修計画の総括と「宮事研ビジョン」を踏まえ、前述した事務職員に係る条件整備を多くの事務職員が現実化できることを目指し、校務運営を重点項目に据えて会員の資質向上のための研修機会の提供を行いたい。

また、令和9年度に実施される全国小中学校事務職員研究大会(宮城大会)の開催へ向け全会員が係わり、大会の理念達成へむけた研修機会も提供しながら会員一人ひとりが学校運営の担い手としての意識を高め、資質の向上を図ることで学校教育に寄与することを目的としたい。

3 目指す事務職員像

① 教育の推進に寄与する事務職員

積極的に学校運営に参画し、教育条件・環境整備等をとおして、間接的あるいは直接的に学校教育に寄与する。

② 協働・連携する事務職員

人と人のつながりを大切にし、事務職員相互、同僚、組織(構成員を含む)、関係機関(職員を含む)と連携を図り協働する。

③ 自ら主体的に行動する・学ぶ事務職員

自らの業務課題・学校現場の課題を解決するために、積極的に行動するとともに課題解決に結びつく多様な研修をする。

④ 時代の変化に柔軟に対応できる事務職員

学校を取り巻く環境の変化に対応し、弛みない改善を推進する。

4 研究テーマ

メインテーマ	子どもたちの豊かな育ちに資する学校事務を目指して
サブテーマ	地域とともにある学校を実現する学校事務の「安定と挑戦」

子どもたちの豊かな学びの場を提供するために、これまでの実践を基にした活動と、「つかさどる」職として学校を取り巻く環境の変化へ即した新たな職務内容への挑戦を行うことで、学校事務職員としての専門性を深める研究を行う。

5 研修項目・研修領域

研修項目・領域については、令和2年7月17日付け2初初企第15号「事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等の送付について(通知)」の別表第二の職務内容については、宮事研が主催する研究大会、セミナーで行い、別表第一の職務内容は、地区で実施する研修会等において行う。

研修計画一覧表は別紙を参照。

6 主な研修機会と開催方法等

(1) 総会研修会

① 目的

年度初めに教育を取り巻く課題について研究を行い、会員の意欲と資質向上を図り、学校運営に寄与する事務職員の育成を目指す。

② 開催時期・日程・開催場所

毎年5月下旬に開催し、午前を総会、午後を研修とする。

開催場所は、仙台市内もしくは、仙台市近隣地域とする。

③ 運営・その他

事務局、研修部が連携し実施する。

会場の確保は事務局、研修会の運営は研修部が行う。

外部講師を積極的に活用する。

(2) 研究大会

① 目的

各地区研究会の理解と協力により、課題解決の方策を探るとともに、学校事務の能率向上を図り、学校運営に寄与する学校事務職員の育成を目指す。

② 開催時期・日程・開催場所

隔年、秋季、一日大会とする。ただし、東北大会を兼ねる場合は、その限りではない。

開催場所は、仙台市内もしくは、仙台市近隣地域とする。

③ 運営・その他

主管となる地区(別紙参照)が運営にあたり、事務局、研修部がそれを補佐する。
研究大会事務分担については、「研究大会役割分担表」による。

個人研究発表を推奨し、宮事研及び地区が積極的に支援を行う他、外部講師も積極的に活用する。

(2) セミナー

① 目的

会員が抱えている課題について、課題解決の方策を探るとともに、会員個々の資質向上を図り、学校運営に寄与する学校事務職員の育成を目指す。

② 開催時期・日程・開催場所

研究大会を開催しない年度の秋季、一日研修とする。
開催場所は、仙台市内もしくは、仙台市近隣地域とする。

③ 運営・その他

研修部が主体となり、必要であれば他の専門部等の協力を得る。
個人研究発表を推奨し、研修部が積極的に支援を行う他、外部講師も積極的に活用する。

(3) 専門部等研修

専門部等の常時活動も部員の研修の場とし、専門部等の目的に合わせ研修活動を行うとともに、情報交換等を積極的に行い、事務改善に努める。

① 事務局

各専門部・理事会の連絡調整を行うことにより、学校現場における企画・調整能力を育成する力を養う。

② 情報部

会員へ向けた情報発信等を行うことにより、学校現場における業務改善、会員の学習力向上を図ることにより、会員としての資質の向上を図る。

③ 研修部

会員の研修の企画を行うことにより、学校現場に必要な調整能力等を養い、学校事務職員としての資質の向上を図る。

④ 調査研究部

会員の資質向上に必要な研究活動を行うことにより、ビジョン形成・組織の活性化等を担う力を養い、会員の資質の向上を図る。

⑤ 事務提要編集委員会

条例改正等に合わせ事務提要を編集することにより、業務の適正化と標準化を行い、会員の資質の向上を図る。

宮城県公立小中学校事務職員研究会 第6次中期研修計画一覧表

研究テーマ	子どもたちの豊かな育ちに資する学校事務を目指して ～地域とともにある学校を実現する学校事務の「安定と挑戦」～			
年次課題	7年度	8年度	9年度	10年度
	学校改善及び 学びの環境整備	学校改善及び 学びの機会保障	学校改善	地域とともに ある学校
宮事研	事務職員の標準的な職務の明確化通知の別表第二(※)の業務に関する研修を中心に行う			
地区事務研	事務職員の標準的な職務の明確化通知の別表第一(※)の業務に関する研修を中心に行う			
総会	環境整備	学校評価	全国大会 プレ発表	組織運営
	宮事研ビジョン 研修計画	学校の情報化	実態調査報告	情報公開
研究大会	主管地区	登米		実行委員会
	研修	学校改善		宮事研
	発表1	本吉		
	発表2	宮事研		
	発表3	自由		
セミナー		コミュニテイ スクール		危機管理
	共同実施に関する実践報告又は時事課題討議			
東北大会			宮城	
全国大会	滋賀	佐賀	宮城	茨城

※令和2年7月17日付け2初初企第15号

「事務職員の標準的な職務の明確化に係る学校管理規則参考例等の送付について(通知)」